

力強く たくましく 第9回「少年の主張」



6月23日、市民館で第9回「少年の主張」竹原市中学生話し方大会が開催され、市内の中学生12人が、日常の中で感じることや、社会への提言、将来のことなど、独自のテーマで思いを発表しました。発表を終えた出場者に話を聞くと、「初めは緊張したけど、落ち着いて発表することができた」、「無事に終わって安心した」、「練習の成果が発揮できた」と、様々な声がありました。

今大会では、市長賞に吉名中学校3年の西村千景さん、青少年育成竹原市民会議会長賞に賀茂川中学校3年の中秋亜李紗さんが選ばれました。西村さんは、「悩んでいる自分へ。」という題で、部活動で辛いことを乗り越えて得た自信、自分を認めることの大切さを発表しました。

中秋さんは、「活字のスズメ」という題で、本を読むことの大切さ、活字を楽しめる社会にしたいという熱い思いを主張しました。

西村さんと中秋さんは、9月に行われる県大会へ出場する予定です。

優秀賞を受賞した10人も、会話や音を取り入れるなど、表情豊かに、力強く自身の思いを発表しました。時に、感動で会場が涙する場面も。一人ひとりの熱い主張に、来場者は心を動かされ、会場は温かい雰囲気になりました。



みんな泥んこ！気持ちいいね ～田植え体験～

5月末～6月初旬、市内各地で、田植え体験が行われました。

5月31日、大井保育所の園児が、地域の人の田んぼで、田植えを体験しました。

地域の人のふれあいや日本の伝統文化を体験することを目的として、地元ボランティアのみなさんが企画したもの。園児たちは大喜びで、「みて！この顔！」と、顔まで泥んこになりながら苗を植えました。

6月3日、サンファームおなしによる「田んぼが画用紙 稲でお絵かき」が開催されました。

市内外から約40人が参加し、地元のみなさんの協力のもと、「かくやパンダ」のデザインに沿って、稲を植えました。サンファームおなし会長の中田稔彦さんは、「地域で子どもたちの声を聞けるのはとても嬉しい。楽しんでやっています。」と、にこやかに話します。

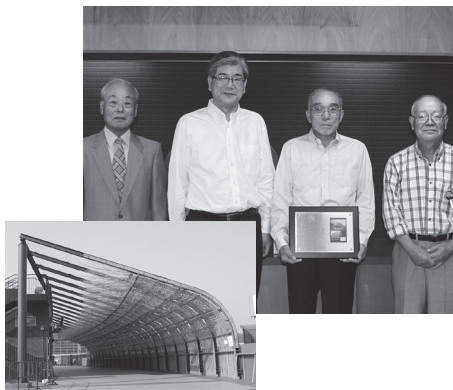
また、6月10日には、下野町で「田んぼアート」が行われました。

今年は、広島大学院1年の奥井涼さんが考案したデザインが採用されました。市外から参加した青木新考くん（三ツ城小学校2年）は、「参加するのが2回目なんよ。泥の感触が気持ちいいし、楽しい！」と、とびきりの笑顔で話してくれました。

地域のふれあいや、食や農・自然への関心も高まる田植え体験。実りの秋10月頃に、大きな絵が田んぼ一面に広がります。楽しみですね。

おめでとうございます 「竹トンネル」銀賞受賞

6月4日、第33回広島広告企画制作賞で、竹原市竹工芸振興協会のみなさんが中心となって制作されたマツダスタジアムの「竹トンネル」が「看板・ネオン・ディスプレイの部」で銀賞を受賞しました。竹細工の伝統的な手法「ござ目網み」が高く評価されました。



工夫をこらしたおもてなし おなしホテルまつり

6月9日、小梨スポーツ広場で、第4回ホテルまつりが開催されました。地域のみなさんのおもてなしで、毎年にごわうホテルまつり。今年は、地域内外から約200人が来場し、ポン菓子のプレゼントやビンゴゲーム、若竹会のグルメを楽しんだ後、ホテルの淡い光を鑑賞しました。



リフレッシュ瀬戸内&ヨット試乗体験

6月24日、的場海水浴場で、リフレッシュ瀬戸内が開催され、参加者約350人が協力してごみを拾いました。終了後、カタマランヨットの試乗体験が行われました。船内の見学や、船上のトランポリンで遊ぶなど、珍しいヨットに子どもたちは大はしゃぎでした。



自分らしく～前向きに生きたいあなたへ～

6月24日、市民館で、男女共同参画推進講演会が開催され、作家の家田荘子さんが講演しました。家田さんは、自分自身の経験や取材で得た事例を挙げながら、人権や命の尊さについて語られ、約400人の来場者が、真剣に耳を傾けました。



ついに完成！仁賀ダム竣工式を開催

6月7日、仁賀ダムサイトで、仁賀ダム竣工式が開催されました。式典には、小坂市長をはじめ、湯崎県知事、地元の地権者のみなさんなど、約130人が出席。くす玉開披とテープカットが行われた後、仁賀小学校の児童による力強い太鼓演奏が披露され、会場はダム完成の祝福ムードに包まれました。

仁賀ダムは、平成元年に着工し、平成18年から本体工事を進め、昨年3月に工事が完了しました。今年3月には試験湛水も終わり、4月から本格運用を始めています。



ピアノとリコーダーの音色にうっとり

6月8日、大乘小学校で、次代を担う子どもの文化芸術体験事業の一環として、ピアノとリコーダーによる演奏会が行われました。

児童にとって身近な楽器であるリコーダーとピアノの心地良い音色に、会場はうっとりとし聞き入りました。5・6年生との合唱が披露されると、盛大な拍手が沸き起こりました。6年生の山根愛加さんは、「私も、リコーダーをもっと練習して、上手に演奏できるようになりたいと思いました。」と、感想を話してくれました。